



# 月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番  
(公) 043(222)7207番

94.6.10 No. 4006

## 今立ち上らずして...! 労働者の総決起で侵略を止め

# 6.19 鉦鼓集結に総力起ちあう

### 今起たずして!

戦争と暗黒政治の暗雲が民衆をのみ尽くそうとしている。こうした歴史の重大分岐にあつて、その一切の力では労働者の反戦闘争への決起であることを本當に腹の底から確認しよう!

一九五〇年の朝鮮戦争の過ちを断じて繰り返してはならない。我々に十分な時間が与えられていないわけではない。なにはともあれ、まず「六・一九全国反戦集会」に一人でも多くが決起すること。そこから始めようではないか!

### ―すべては、社会の主人公たる

### 労働者の闘い次第!―

熊谷官房長官は、「朝鮮半島で軍事衝突が起これば一気に危機管理体制(有事体制)を作ることができると宣言した。

そして、「有事」について次のように考えている。「戦争勃発と同時に自衛隊が戦闘行動に入り、自衛隊(軍)が中心となつて治安維持を図る」というものであり、加えて、「労務の徴用」「一切の労働争議の禁止」「言論出版の統制」等々である。だが、このことは逆に、労働運動や民衆の反対を完全に押し潰さなければ戦争はできないことを物語っている。動労千葉や国労闘争団をはじめとする労働者の存在、三里塚や闘う住民運動をそのまま抱え込みながら、戦争と総動員体制など出来るはずがないのである。そこが肝心である。生産点を

握り、社会の主人公たる労働者が戦争反対をかかげ立ち上がったとき、侵略戦争は絶対に阻むことができる。今ならまだ間に合う。その時になつてからでは遅いのだ!

## 歴史から学ぼう

五〇、年朝鮮戦争は、徹頭徹尾アメリカの侵略戦争であった(解説参照)。

これを遂行するために、戦争勃発数年前には、在日朝鮮人民への大弾圧がはじまり、四八年七月には、「政令二〇一号」による公務員労働者の争議行為が禁止され、一〇〇万人と言われる大首切りの風が襲い、それと時を同じくして下山、三鷹、松川の三大謀略事件が引き起こされる。また、都内の集会・デモが一切禁止され、共産党中央委員が公職追放。そうした中から「北朝鮮の侵略反対、国連支持」を掲げて総評が結成され、これ

と連動して「活動家追放」が行なわれながら、戦争への踏み切りと有事体制が確立されていったのである。

しかし、労働者は、この大弾圧の中でも、電産スト、東宝争議、炭労のストをはじめ、軍需物資輸送や生産に対するサボタージュ・ストライキが果敢に闘い続けられた。その先頭に立ったのが、在日朝鮮人であったことをしっかりと見ておかなければならない。

問題は、当時大きな影響力をもっていた日本共産党の屈伏と誤りである。彼らは、不屈の反撃に立ち上がった労働者を、「挑発者」呼ばわりし、ストライキ潰しの役を買って出て、労働者の闘いを大きなひとつの力に創りあげる指導を放棄し、戦争の道を許したことである。

「大衆はよく闘った。それどころか大衆だけが闘った」(故労働運動研究者・斎藤一郎氏) この歴史の教訓に学び、「反戦共同行動委員会」の前進のた

### ▼朝鮮戦争とは▲

朝鮮戦争は、五〇年六月二十六日から約三年にわたつて激しく戦われました。戦闘参加兵力は二〇カ国・約二〇〇万人。米軍は国連軍を名乗り、中国軍は義勇軍として参戦しました。

朝鮮半島に投下された爆弾の量は第二次大戦を優にしのぎます。朝鮮全土は破壊しつくされ、死者は朝鮮人だけで一五〇万人以上をこえまし

めに全力を尽くさなければならぬ。

### ―歴史―を

### 繰り返してはならない!

支配階級のきも入りで新たに登場した連合は、資本家の利益を代弁し、戦争翼賛の道をひた走っている。我々は過去の戦争で朝鮮人民の闘い、在日朝鮮人民の闘いを見殺しにしてしまった。この教訓から学び、連合打倒の闘いと一体のものとして、「朝鮮アジア人民と連帯する反戦闘争」を大きく創りださなくてはならない。

### ―六・一九へ総力決起しよう!―

# 6.19 鉦鼓集結に総力決起

この戦争によって、アジアの戦後体制はジュネーブ体制として確定されます。朝鮮半島は三八度線を境に南北分断が固定化されます。韓国はアメリカ帝国主義の反共軍事基地国家となります。日本はこの戦争に加担し、全土は出撃基地となりました。当時の米軍司令官は「日本が本拠地にならなければアメリカは戦争に負けていたであろう」と発言しています。